

再編・整備計画【三次】(案)の概要

高校教育課 高校再編推進室

第1章 多様な学びの場の創造(高校配置計画)

- 第1 高校改革がめざすもの ▶ 社会の激変と少子化の中での高校教育の学びの質の保証
第2 「実施方針」に示す「新たな学びの推進」と「再編・整備」の方針等 ▶ 6つの方針
第3 旧通学区ごとの高校配置と将来像 ▶ 地域からの意見・提案を踏まえた再編・整備方針

1 旧第3通学区(長野市北部・上水内郡)

「旧第3通学区高校の将来像を考える地域の協議会」からの主な意見

- 新たな学び ・ 探究活動や協働活動を通じて主体的に自らの未来を切り拓く力を身に付けられる
・ 諸課題解決を粘り強く探究する力や資質の養成
- 高校配置 ・ 中山間地存立校の統廃合もやむを得ないが、地域の拠点として可能な限り維持
・ 通信制を併設したフレキシブルな多部制・単位制高校の北信地域への設置を要望

《再編・整備方針》

- 長野東高校を、通信制を併設した多部制・単位制高校(スーパーフレックスハイスクール[SFH])に転換

2 旧第4通学区(長野市南部・千曲市・坂城町)

旧第4通学区「高校の将来像を考える地域の協議会」からの主な意見

- 新たな学び ・ 地域のニーズに応える新たな学科の設置、少人数学習、協働的学習、地域との連携
・ 柔軟な教育課程や外部人材・専門的な人材を積極的に活用した地域に密接に関わる学び
- 高校配置 ・ 一定規模の総合技術高校、交通の利便性等に配慮した多部制・単位制高校の設置を要望

《再編・整備方針》

- 更級農業高校、松代高校の商業科、屋代南高校を再編統合

3 旧第7通学区(諏訪地域)

「諏訪地域の高校の将来像を考える協議会」からの主な意見

- 新たな学び ・ 地域の魅力について学び、地域を支える担い手の育成に繋がる学び
・ 幼保小中高大それぞれの発達段階に応じた学びの連続性や連携が重視された学び
- 高校配置 ・ 留学や国際交流などを通じて仲間と切磋琢磨できる規模の大きな学校の設置
・ 学科間連携が可能な総合的な専門学科高校の設置
・ 中山間地では、地域の魅力や特色を活かした普通科や専門学科等の設置

《再編・整備方針》

- 岡谷東高校と岡谷南高校を再編統合
○ 岡谷工業高校と諏訪実業高校を再編統合
○ 茅野高校と富士見高校を再編統合

4 旧第11通学区(塩尻・松本・安曇野地域)

「旧第11通学区高等学校教育懇話会」からの主な意見

- 新たな学び ・ 探究的な学びの推進、教員の資質・能力向上のための研修充実、地域連携の推進
・ 教育機関等が協働する連携の仕組み、外部人材の登用、専門学科・特別支援教育の充実
- 高校配置 ・ 3市に適正規模の都市部存立普通校を設置し、中山間地存立校は魅力化を進めて存続
・ 安曇野市の専門高校は「合同部会の報告^{*}」を真摯に受け止める必要を確認

《再編・整備方針》

- 塩尻志学館高校と田川高校を再編統合
○ 南安曇農業高校と穂高商業高校、旧第12通学区の池田工業高校を再編統合

5 旧第12通学区(大北地域)

「大北地域における高等学校の将来を考える協議会」からの主な意見

- 新たな学び ・ 探究的な学びを一層進め、地域に根差した学びを実現
- 高校配置 ・ 池田工業高校は合同部会の報告^{*}とともに総合的視点で高校改革を丁寧に進めるよう要望
・ 大町岳陽高校はスケールを活かした学びを実現、白馬高校は中山間地特定校として存続

《再編・整備方針》

- 池田工業高校と旧第11通学区の南安曇農業高校、穂高商業高校を再編統合

^{*}「安曇野・大北地域の高等学校を考える合同部会」の報告は、南農、穂商、池工に関わり「総合技術高校の設置に向けた具体的な条件整備のあり方を議論していくべきである」という趣旨の意見が大勢を占めた。」というもの。

第4 定時制・通信制課程の配置 ▶ 地域からの意見・提案を踏まえた配置計画

1 第1通学区（北信地区）

地域協議会からの主な意見

- ・就労へとつながる学びの場の設置についても検討する必要（旧2通）
- ・夜間部を備えた多部制・単位制高校の設置に加えて通信制課程の併設を要望（旧3通、旧4通）
- ・多様な生徒の多様な学びを保障する観点から、夜間定時制の適正な配置についても要望（旧4通）

《配置計画》

- 中野立志館高校定時制は、中野立志館高校の統合時に、「中野総合学科新校（仮称）」定時制に移管
- 長野東高校を定時制（多部制・単位制）に転換して長野吉田高校戸隠分校、長野高校定時制、長野西高校通信制、長野商業高校定時制を集約するとともに、定時制と通信制を併設したスーパーフレックスハイスクール[SFH]を設置
- 長野工業高校定時制工業科を普通科に転換

2 第2通学区（東信地区）

地域協議会からの主な意見

- ・社会情勢の変化や地域からの要望等を酌み、中長期的な視点で検討を（旧5通）
- ・キャリア教育、探究的な学び、興味関心、学び直し等、多様な生徒に対応する学びの推進（旧6通）

《配置計画》

- 上田千曲高校定時制工業科を普通科に転換
- 東御清翔高校に夜間部を設置し、上田高校定時制を東御清翔高校に集約
- 野沢南高校定時制は、野沢南高校統合時に、「佐久新校（仮称）」定時制に移管
- 小諸商業高校定時制商業科は、小諸商業高校統合時に、「小諸新校（仮称）」定時制に移管した後、佐久新校（仮称）定時制に集約

3 第3通学区（南信地区）

地域協議会からの主な意見

- ・定時制課程は引き続き設置、通信制課程の設置も将来的に検討する必要（旧7通）
- ・多部制・単位制高校及び定時制高校は、現状のとおり配置を維持（旧8通）
- ・多部制・単位制の機能を持つ学びの場、通信制課程の拡充についての検討が必要（旧9通）

《配置計画》

- 諏訪実業高校定時制は、諏訪実業高校統合時に「岡谷諏訪総合技術新校（仮称）」定時制に移管
- 赤穂高校定時制は、「赤穂総合学科新校（仮称）」開校時に、新校定時制に移管

4 第4通学区（中信地区）

地域協議会からの主な意見

- ・定時制の存続が望ましい（旧10通）、松本筑摩高校の充実（旧11通）、定時制の学びを維持（旧12通）

《配置計画》

- 旧第12通学区内の定時制の配置のあり方は、「安曇野総合技術新校（仮称）」の校地等と併せて検討

第2章 再編整備の進め方

1 全体の再編手順

- 統合新校については「再編・整備計画」確定後に、統合新校ごとの個別の「再編実施計画」を策定
- 再編されない既存校や集約しない定時制・通信制課程も順次整備等を進める

2 個別の再編実施計画の策定

- 統合新校ごと「新校再編実施計画懇話会」を開催して検討を進める
【再編実施基本計画】：学びのイメージ、募集開始年度、活用する校地・校舎、校名、設置課程・学科、想定する募集学級数等
- 県議会の同意後は、懇話会で細部にわたる意見交換を行い「再編実施計画」を策定し、開校準備を行うとともに、開校準備の進捗状況について適切に広報し、中学生や保護者等に遅滞なく周知